

(四) 第三十一師團の現作戦計画の概要

第一 方針

師團ハ嚴ニ企圖ヲ秘匿シ三月Y日夜、シドゥン河ヲ奇襲渡河シ
隨處ニ敵ノ抵抗ヲ啗碎シツ、一舉ゴビマノ要衝ヲ急襲確保ス

第二 戦斗指導ノ要領

一 師團ハ第三十三師團、X(マ、ロ、四)日ヨリスル進攻率制ノ効果ヲ利用
スル如ク極力企圖行動ノ秘匿ニ萬全ヲ盡スト共ニ渡河後ノ突
進速度ヲ増加ス

二、チ河渡河ニ方リテハ極力奇襲渡河ニ努ム

チニ夜以降ノ渡河ニ方リテハ我カ空軍掩護ノ下ニ渡河ヲ強行ス

三、印緬國境及ヴクルル周辺地ニラエル河線及ゴビマ周辺ニ於テハ強力
ナル敵ノ反撃又ハ組織アル抵抗ニ会スルヲ予期スルモ各突進隊毎ニ
萬策ヲ傾倒シテ機ヲ失セズ(一舉ゴビマノ要衝ニ進出敵ノ補給並
退路ヲ遮断スルニ努ム)

四、左突進隊ハヴクルル附近ニ到ル間特ニ第十五師團右從隊ト策應シ
連絡ヲ保持ス

五、ゴビマ周辺ニ於ケル戦斗指導並防衛態勢ハ當時狀況ニ依リ定ムルモ
機ヲ失セズ有カナル部隊ヲデマアル隘路口及師團北翼ニ進出セ
シ、右ノ行動ヲ容易ナラシム

六、戦力ノ培養爲補給ノ方策ニ関シ顧慮ス

第三 部署ノ概要

七、軍隊區分別紙ノ如シ

八、右突進隊

一、日迄ニ企圖ヲ秘匿シツ、タマンテイ村岸、ビンマ地区ニ潛伏渡河
準備ヲ完了シ、Y日夜、タマンテイ南側地区ニ於テ奇襲渡河シ、レイシ
一、ソムラ北方印緬國境路、バケスミ、ネルヘマー、カドマー、マケレマ
道ヲ突進シ、隨處ニ敵ノ抵抗ヲ啗碎シツ、デマアル、ゴビマ道上、バケレ
マ附近ニ進出シ、敵ノ退路ヲ遮断ス

九、中突進隊

一、日迄ニ企圖ヲ秘匿シツ、主カヲ以テ、ゴヤ北側及東側地区一部ヲ以テ、
ゴヤ附近ニ潛伏シ、Y日夜ヨリ左ノ如ク、チ河ヲ奇襲渡河シ、隨處ニ
敵ノ抵抗ヲ啗碎シツ、ゴマ、ハイケン、ソムラ、セツサ、ハケスミ、ゴビマ道

ヲ突進シコヒマ周辺ヲ占領ス
之ノ際機ヲ失セズ歩兵亦百二十四聯隊長ノ指揮スル有力な部隊ヲ
スミールコヒマ道ヲ北方地区ノ要隘ニ進進シ得ル如ク準備セシム

渡河日時

渡河部隊

Y(日)夜

前衛

Y(日)一夜

第一梯團

Y(日)二夜

第二梯團

Y(日)三夜

第三梯團

Y(日)四夜

第四梯團

一〇、左突進隊

Y(日)夜 企圖ヲ秘匿シツツ子河、空河合流其南側地区ニ潜伏シ
Y(日)夜 期シ、ホマリシ下流地区ヨリ子河ヲ奇襲渡河シウラルーカラム
マオンザン、コヒマ道ヲ隨所ニ敵ヲ虫碎シツツ速ニコヒマ附近ニ進出シ該
地ヲ占領 確保セシム
之ノ際機ヲ失ス一部隊ヲウラルーカラム、マオンザン道以南地区
ヨリコヒマ、インバル道上、カロシ橋梁附近ニ進進占領セシメ速ニ該道
路ヲ遮断シ敵ノインバル方向ヨリノ退却及増援ヲ妨害セシム
二、通信連絡補給衛生ニ関シテハ略ス

第四 協力部隊ノ行動概要

- 一、渡河作業隊（長第五五兵隊司令官 小林大佐 第五五兵隊司令部 独立
工兵中隊 野原中隊 第五輕渡河材料隊）ハ其ノ主力ヲ以テ師団ノ中及左
突進隊ノ中河渡河ヲ担任ス
- 二、飛行第五師団第四飛行団（出動可能戦力一週同連日十機）ハ其
ノ戦力ヲ以テ先少師団ノ渡河掩護ニ任シタル後次テ師団ノ
中及左縦隊ノ印緬國境附近突破時ノ戦力ニ協力シタル後ニ於テ
地上主作戦ノ爲メ整備ニ任ス

ウ號作戰時ニ於ケル第三十一師團進攻為、攻撃部署

第一軍隊區分

右突進隊

長 步兵第百三十八聯隊第三大隊長 少佐 柴崎兵一
步兵第百三十八聯隊第三大隊
山砲兵第三上聯隊第三中隊
工兵第三上聯隊第一中隊、一小隊
師團無線一分隊
衛生隊、一部

中突進隊

前衛

大佐 鳥飼恒男

長 步兵第百三十八聯隊長
步兵第百三十八聯隊(第三大隊欠)
山砲兵第三上聯隊第一大隊(第三中隊欠)
工兵第三上聯隊第一中隊(一小隊欠)
師團無線一分隊
衛生隊三分の一
第三上師團第一野戰病院
本隊(同行軍序列)

第一梯團

步兵第百三十八聯隊第一大隊第一中隊
師團通信隊主力

師團司令部

步兵第百三十八聯隊第一大隊(第一中隊欠)
工兵第三上聯隊(第一中隊第二中隊)

第二梯團

步兵第百三十八聯隊第二大隊
山砲兵第三上聯隊(第一大隊欠)

第三梯團

步兵第百三十八聯隊(第一大隊欠)
師團衛生隊

第四梯團

輜重兵第三上聯隊(一中隊欠)
第二野戰病院

師團無線一分隊

左突進隊

長 第三十一步兵團長
第三十一步兵團司令部
步兵第百三十八聯隊
山砲兵第三上聯隊第二大隊
工兵第三上聯隊第二中隊
師團無線一分隊
師團衛生隊三分の一
第三野戰病院

少將 宮崎繁三郎